

授業科目 「教育実践研究Ⅱ」  
 担当教官 平松 義樹  
 科目区分 教育実践研究  
 受講生 42名

## 1 授業の目的と概要

本講座の目的は、最近の学校教育をめぐる諸問題、特に学力論や授業論について実践的に研究していくことにある。そして、教師としての使命感や実践的指導力を培うとともに、人間としての生き方について自ら考える力を育てることをねらいとしている。

## 2 学生による授業評価

本講座では、毎時間、授業終了前に下図のような授業評価を行っている。「学生のニーズに合った授業ができていないか」という問いを常に持ちながら、授業内容や構成に生かすようにしている。また、学生からの疑問や質問に対しては、次回の授業の冒頭で必ず説明するようにしている。毎回のデータを累積することによって、今年度の授業評価の一つの指標としている。

出席票とアンケート		授業名 [ ]
<input type="checkbox"/> 2月 <input type="checkbox"/> 2日 学生番号 [ ]	Q1 当てはまる1つを選んでエッジをつけてください。 教師の話し方や説明の仕方はどうでしたか 悪い < <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> > 良い 教育内容や教材が工夫されていた 悪い < <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> > 良い 90分の構成や展開がスムーズであった 悪い < <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> > 良い 新しい知識、概念、技能が身に付いた 悪い < <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> > 良い 授業は満足いくものであった 悪い < <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> > 良い 自ら意欲を持って積極的に学んだ 悪い < <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> > 良い	
Q2 今日発言をしましたか (①~③に必ずチェック) ①なし <input type="checkbox"/> ①回 <input type="checkbox"/> ②回以上 <input type="checkbox"/> 内容 (簡単に) [ ]		Q3 授業への感想・質問・意見・要望など (濃くはっきりと) 私の学び大切に 想いや情報や課題を10時間と して。これ平松先生の講義や聴けることと思え、もの ぶつてみたい気持ち。大学を卒業するまで、いやその先も、 平松先生の教育実践理論は ずっと学び続けたい です。現場を経験し初めて分かることも多いので、 これからも自分の講義の中で多くを学ばせたいです。 平松先生の想いを自分の教員に託す。自分の側 にはある。これを大切にしたいです。

た授業ができていないか」という問いを常に持ちながら、授業内容や構成に生かすようにしている。また、学生からの疑問や質問に対しては、次回の授業の冒頭で必ず説明するようにしている。毎回のデータを累積することによって、今年度の授業評価の一つの指標としている。

各項目の評価結果(15回の累積結果)	良い	←————→			悪い
	5	4	3	2	1
① 教師の話し方や説明の仕方はどうでしたか。	95(%)	5(%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
② 教育内容や教材が工夫されていた。	93(%)	7(%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
③ 90分の構成や展開がスムーズであった。	76(%)	24(%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
④ 新しい知識、概念、技能が身に付いた。	93(%)	7(%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
⑤ 授業は満足いくものであった。	95(%)	5(%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
⑥ 自ら意欲を持って積極的に学んだ。	81(%)	19(%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)

上記表を見ると、全員の学生が「5」と「4」の評価をしていることから、今年度も受講学生にとって、意味ある「学び」を保証することができたと考える。特に、教師評価と授業満足度は95%の高い割合に達している。90分間の授業構成に課題があるが、これはDVD視聴の時間や学生の課題発表時間の設定がやや予定していたものよりオーバーしたため、このような評価結果になったものと推測される。⑥の「自ら意欲を持って積極的に学んだ」という項目は、学生自らの自己評価が辛かったためと思われる。受講生は積極的に発表もし、意欲的であったと考える。

### 3 学生の自由記述による授業評価

ものすごく大切な想いや情報がたくさんあった1時間でした。そこで平松先生の講義を聴けなくてはならない、ものすごくさみしい気持ちです。大学を卒業するまで、いやその先も、平松先生の教育実践理論はあと学び続けていきたいと思います。現場を経験して初めて分かることもあつと思うので……。それでも本当にこの講義の中では多くのことを学ばせてもらいました。平松先生の想を受けついでアツイ教員になります！"子ども側にいてあげる"ということを大切にしていきたいと思います。

教師になりたいという気持ちが高まった学生の授業評価である。「平松先生の想を受け継いだアツイ教員になります」という文言には泣かされた。私の想はこの学生の心に響いたのであろう。

先生の講義を通して、私は、教師になりたい！と本当に思えるようになりました。正直何處、自分は何になつたのか、悩んだり、自信喪失になつてしまつておりました。しかし、先生の体験や、現代の子どもたちのかかる問題を知り、また、子どもと関わり、ていくことを通して、教師は、子どもの成長を支えると共に自分も人間的に成長できる素晴らしい仕事だと思つた。過去(先人の伝統)を生かしていく教育も大切にしながら、私は、「今の子どもに関わり、ける温かい気持ちを持った教師になりたい」と思つた。「まけないワオ」のように、今はとて中途半ばな私だけ<sup>(私)</sup>と、まけない気持ちを持つ、子どもにより、ける教師になりたいです。先生の講義、本当に私を人間的に成長させてくださいました。ありがとうございました。

「なぜ教師になりたいのか」という自己内対話を深めた学生の授業評価である。この講座は、この学生にとって「人間的成長できた時間」であったと思われる。「成長」という語句を3回も使用して自分の変容を訴えている。

この授業は教師をまさに今目指し、勉強している私を後押ししてくれる大変存在の大きい貴重なものでした。何よりも先生のお話の説得力があり、「あーなるほど!」「そういうことが言いたかつたんだ!」と毎回私の心を揺れ動かしてくれるものでした。本当にためになりました。教師になる前もなつてからもずっと先生にいたいた資料、大切にします!! ありがとうございます。この授業を通して、やはり私は教師になりたいと強く思いました。大変だ、しんどいという声をたくさん聞くので、迷っていたこともありましたが、先生のような教師を目指してがんばります。先生に出会えてよかったです。本当にありがとうございます。

「教師になろう」という自分を後押ししてくれた時間であったと評価してくれた学生。目標とする教師像を明確にして、今、勉強していることの意味を見出した学生である。

最初はこの授業を取るか迷っていました。しかしやはり取って良かった。取らないと損をしていたと満足感でいっぱいです。どちらかという今までは、理論を教えてもらい、実習で投げたされやってみるというものでした。しかし平松先生の授業は、理論と実践をつなぐもので、右脳も左脳もいつも刺激されていました。私は国語科で、言葉が好き好きです。いつも先生が選んで使う言葉そのものが、学びになっていました。金本先生が岡田先生を「おれ」と例え、平松先生が金本先生を「おれ」と表し、この言葉の感覚が好きです。平松先生に会えたのも本当に嬉しかったです。ありがとうございます。

15回を通して、自分の教育観を見つめ直すことができた。授業観では、1人の教師として、いかに子どもの心をつかむか、まず何より教師は子どもの学びを保障することの大切さを学んだ。未知から既知へ、そしてゆさばりをかけ探求。子どもからなぜ？を引き出す力が重要だと感じた。また、一人ひとりの子どもを見るということ、子どもの心によりそい、子どもを守る。私は、親の次に一人ひとりの子どもを大切に思い、成長を願える教師になりたいと思った。そのためにも、今、私自身がもう一度、教科研究、学級づくり、そして、「教育」そのものについて、深く学ぶ必要があると感じた。15回、本当に意味のある、学びの多い時間でした。ありがとうございます。

平松先生の授業を受けたことで、私の地域連携実習での深みが増すようになりました。子どもとの関係の作り方や授業の向上につながりました。私は、平松先生に出会える機会を持つことが嬉しいです。優しく愛情のある平松先生は、私にとって理想の先生そのものです。私は自分に自信がありません。けれど、平松先生に会って少し自分が好きになりました。頑張って、できるだけの努力をして良い先生になりたいと思いました。先生の人柄のおかげです。また、先生とお話できた機会があればいいなと思っています。

当初、受講する予定でなかったこの講座であるが、「取らないと損をしていたと満足感いっぱい」を表現する学生の感想である。理論と実践をつなぐ資料提供に努めたことが、この学生を変容させたのかも知れない。

15回を総括して授業の意味を考えた学生の感想。授業スタイルの意義とか、「子どもをみる」という行為の意味を理解している。学び合う集団づくりの必要性も述べている。

「平松先生に会って自分に少し自分が好きになれた」というこの学生。授業中の私の言葉の向こうの世界を感じてくれたのかも知れない。ここまで言われると、気恥ずかしいが、15回全力で授業したご褒美かな？